

令和6年3月27日

教育委員会教育長 様

札幌東高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| (1) 教育課題を把握・理解するとともに、保護者等の考えや国等の動向を踏まえ、解決策を幅広く検討し、教育活動の改善・充実に努める。
(2) 学校・学習評価等をカリキュラムマネジメントと関連付けて効果的に実施し、社会に開かれた教育課程の実現に努める。
(3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を推進し、個別最適で協働的な学びの実現に努める。
(4) コンプライアンスを徹底するとともに、連携・協働体制を確立し、期待や信頼に応える魅力ある学校づくりに努める。 |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- ICT機器を活用し「主体的・対話的で深い学び」の充実に向け、教科における組織的な授業改善を実施。タブレット等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一層の推進が必要。 「総合的な探究の時間」でのフィールドワークの実施など、課題解決型探究活動が充実。教科における探究的な学習の一層の推進が必要。	○取組は概ね良好である。 - ICTを利用した個別最適な学びやグループワークなどによる協働的な学びの一層の進展を期待する。 - 課題解決型の教育活動が多様に実施されており、内容も工夫改善されている。引き続き、次代を担う生徒の育成に期待する。
改善方策	- 個別最適な学びと協働的な学びに係る校内外研修や受講奨励の一層の推進。 - 教科の特性に応じた探究的な学習の推進に向けた教科担任団における研究と実践の推進。	
生徒指導	- 学校祭や見学旅行等の機会を活用し、自己有用感や自己肯定感を得る活動を工夫。集団生活に係る経験値の一層の向上が必要。 - 校内外の生活における規範意識の醸成と実践に係る時機に応じた指導の充実。	○取組は概ね良好である。 - 集団生活の在り方について生徒が主体的に考える力の育成を期待する。 - 自律的に行動することの目的や意味を生徒が経験的に理解できる活動の推進を期待する。
改善方策	- ホームルームでの活動、学年レク等の活性化によって集団生活に係る経験の充実。 - 生徒会活動等の充実により主体的・自治的な問題解決力を一層育成。	
進路指導	- 希望者に教員養成講座、医学部メディカル講座、海外研修、東京地区大学探訪を実施。多様な取組を充実させる組織的な対応が必要。 - 模試、講習、SSDによる学力向上、保護者進路説明会、教員研修による共通理解の深化。生徒の取組意欲向上のため、模試や放課後講習の活用に一層の工夫が必要。	○取組は概ね良好である。 - 進路希望に応じた個々の取組が人間形成に一層繋がっていく指導を期待する。 - 大学進学だけをモチベーションとしない指導体制の工夫や、例えばチューターとして現役大学生が協力する体制の検討など、よりチャレンジングな進路指導を期待する。
改善方策	- 大学の学問や卒業後の進路を見据えたキャリア教育や探究的な学習の再組織化・系統化。 - 外部人材の活用も視野に入れ、効果的・効率的な模試受験・放課後講習の在り方を検討。	
健康安全指導	- 生徒からの日常的な相談は保健室において養護教諭が対応し担任等と情報共有。SCや相談担当教員における組織的な連携と分担が必要。 - ストレスチェックにより学校適応状況を把握し学年集会でSCから対処策を直接助言。実施時期、チェック項目の整理・結果分析、SCによる講話形態などについて工夫改善が必要。	○取組は概ね良好である。 - 生徒の変化にいち早く気づき、適確に対応することが第一である。メンタルケアの一層の充実を期待する。 - 専門家や外部機関との連携を一層深め、個々の生徒が個性を大切にできる学校環境を構築するよう期待する。
改善方策	- 相談担当教員を各学年に配置するなど、教育相談委員会を中心とした相談体制を活性化。 - SC講話を長期休業期間前後にリモートやグループワーク等で実施するなど柔軟な形式で実施。	
公表方法	本校ウェブページに掲載	